

事務系システム構成イメージ図

- ・ 人事管理システムと連携するためのベンダー構築費用を見込むこと。
- ・ 外部接続用DMZエリアのデータ連携用仮想サーバを使用するための共通基盤（ネットワーク・サーバ）ベンダーの構築費用を見込むこと。
- ・ 病院機構と接続する外部接続用回線はセキュリティが高いIP-VPN（閉域網）回線を使用すること。
- ・ 脆弱性対策に伴うネットワーク機器のバージョンアップやサーバ及び端末のOSアップデート（WindowsUpdate等）を実施すること。

スマートフォン等
院外からのシステム利用者



事務系システムベンダー構築範囲

奈良県立病院機構 内部ネットワーク・システム
(基幹システム)

奈良県立病院機構 院内端末からの利用者

法人本部事務局
奈良県総合医療センター
奈良県西和医療センター
奈良県総合リハビリテーションセンター
奈良看護大学校

仮想ブラウザ
(SCVX)

外部接続用DMZエリア

事務系システム
データ連携用
仮想サーバ

人事管理システム
データ連携用
仮想サーバ

※共通基盤ベンダーが総合医療センターに用意するデータ連携用仮想サーバ（OS引き渡し）を使用してデータ連携用ツールを構築すること。

※人事管理システムベンダーと調整を行い、人事管理システムのデータ連携用仮想サーバとデータ連携を行うこと。

Internet
接続

IP-VPN
閉域網接続

IP-VPN
閉域網接続

外部ネットワーク・システム①
(クラウドサービス)

事務系システム

※外部システムとの連携には万全のセキュリティ対策を行うこと。

人事管理システム

外部ネットワーク・システム②
(人事管理システムベンダーデータセンター)

※上記を基本にセキュリティを担保の上、提案すること。機構と協議の上、詳細を決定することとする。